

NTP サーバーへの同期設定を行う

複数台のプロジェクトで同じスケジュールを継続的に同時再生するために、NTP サーバーと同期させて対象のプロジェクトの日時の設定を合わせます。

本機は NTP サーバー機能を搭載しています。例えば外部の NTP サーバーにアクセスできない環境下でも、複数台存在する本機の中の 1 台を NTP サーバーとして使用することで、それ以外のプロジェクトの時刻を同期させることができます。

1) コンピューターの WEB ブラウザーを起動する

2) WEB ブラウザーから本機にアクセスする

- WEB ブラウザーから本機にアクセスする手順については、“WEB ブラウザーからのアクセスのしかた” (☞ 97 ページ) をご覧ください。

3) WEB 制御画面の [時刻設定] ページで、[タイムゾーン] を選択する

- スケジュールの再生は、プロジェクトに設定されているローカル日時で動作します。同時再生するプロジェクトは、同じタイムゾーンに設定してください。

4) WEB 制御画面の [時刻設定] ページで、[NTP 同期] を [ON] に設定する

5) [時刻設定] ページの [NTP サーバー名] に、NTP サーバーの IP アドレスまたはサーバー名を入力する

- 複数台存在する本機の中の 1 台を NTP サーバーとして使用する場合は、そのプロジェクトに設定されている IP アドレスを入力してください。
- サーバー名を入力する場合は、DNS サーバーの設定が必要です。DNS サーバーの設定については、“[LAN 設定] ページ” (☞ 104 ページ) をご覧ください。
- NTP サーバーの設定について、詳しくは “[時刻設定] ページ” (☞ 107 ページ) をご覧ください。

6) [時刻設定] ページの [日時のセット] ボタンをクリックして設定を反映する

- しばらくすると NTP サーバーの時刻と同期します。

お知らせ

- 本機を NTP サーバーとして使用する場合は、[NTP 同期] を [OFF] に設定したうえで、日付と時刻を設定してください。
- [時刻設定] ページの [タイムゾーン]、[NTP 同期]、[日付]、[時刻] の設定は、メニューの [セットアップ] → [日付と時刻] (☞ 64 ページ) でも設定できます。NTP サーバーを設定できるのは、WEB 制御画面の [時刻設定] ページだけです。
- WEB 制御画面の設定に使用できるコンピューターについて、詳しくは “設定に使用できるコンピューター” (☞ 96 ページ) をご覧ください。
- 本機を NTP サーバーとして使用する場合、それ以外のプロジェクトの同期設定を行ったあと、同期が完了するまでに 15 分程度必要になります。同期設定を行ったあと、15 分以上経過してからスケジュールの再生を開始してください。
- 本機を NTP サーバーとして使用している場合、NTP サーバー側の時刻設定を変更すると、同期が完了するまでに 15 分程度必要になります。スケジュールの同時再生を運用中の場合はご注意ください。

[ローディングタイム固定] を有効にする

同時再生するプロジェクトの時刻を同期させても、スケジュールに登録されている動画コンテンツによっては、再生開始後、実際に映像が投写画面に表示されるまでの時間がプロジェクト間でばらつきます。動画コンテンツを含んだスケジュールを再生する場合は、[ローディングタイム固定] を有効にし、再生開始から映像を表示するまでの時間を固定 (3 秒) することをお勧めします。

WEB ブラウザーは、クライアントコンピューター (Windows コンピューター /Mac のみ対応) から操作してください。

1) WEB ブラウザーから、同時再生するプロジェクトのコンテンツマネージャーにログインする

- ログインの手順について、詳しくは “コンテンツマネージャーにログインする” (☞ 121 ページ) をご覧ください。

2) [システム設定] ページで、[ローディングタイム固定] を [有効] に設定する

- [ローディングタイム固定] について、詳しくは “システム設定を行う場合” (☞ 172 ページ) をご覧ください。

お知らせ

- [ローディングタイム固定] を [無効] に設定した場合は、再生開始後、SD カードから動画コンテンツのデータを読み込み完了次第、映像を表示します。コンテンツによって異なりますが、再生開始から映像を表示するまでの時間は 3 秒未満になります。